

6) 農道

□砂利の補充「基礎」

〈活動内容〉

・点検した結果、通行に支障となるなど必要がある場合は、路面の凸凹が解消するように砂利を敷きます。

※点検の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・路面のわだちや窪みに砂利の補充をします。
- ・スコップなどで敷き均し、締め固まり沈下する分を考えて、若干高めに盛るようにしましょう。
- ・路面全体がぬかるむようなところでは、路面全体に砂利などを敷くと効果的です。
- ・排水が悪く路面に水たまりができる場合は、排水溝の設置を検討しましょう。
- ・土にセメントや土壌硬化剤等を混合して転圧することにより簡易舗装が可能です。

6) 農道

□側溝の目地詰め

〈活動内容〉

- ・機能診断の結果、U字溝などのコンクリート構造物の目地部に劣化が発見された場合、必要に応じて早い段階に充填剤を詰めます。また、目地部分の草抜きを行います。
- ※診断の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・目地が普通目地か伸縮(膨張)目地かにより補修材が変わってきます。
- ・普通目地: 止水などの役割を果たします。通常、セメント系の目地材で作成されています。
- ・伸縮(膨張)目地: 止水などの他、温度変化に伴うコンクリート製品の伸び縮みを吸収する役割を果たします。通常、アスファルト系やゴム系の目地材で作成されています。
- ・劣化した目地材を取り除き、補修部分は必要に応じて洗浄等を行い、きれいにします。
- ・補修材は各種のものが市販されています。ホームページや専門の販売店などで、作業目的に適合したものを選びましょう。

6) 農道

□側溝の不同沈下に対する早期対応

〈活動内容〉

・機能診断の結果、側溝が一部不同沈下していた場合、必要に応じて早い段階に補修を行います。

※診断の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・U字溝等が不同沈下している場合には、不同沈下部分の水路敷きに土を充填・締め固めなどの対策を実施し、不同沈下部分を補修します。
- ・U字溝の目地部に生じた隙間や止水板に生じた破損部分などから漏水している場合、水路基盤の土砂が流出して不同沈下が助長されたり、側壁背面の土砂が吸い出しを受けたりする可能性があります。このため、漏水が生じていないかを確認します。
- ・目地部の補修は、実践活動「目地詰め」を参考に行いましょう。
- ・水路の不同沈下が著しく、改修が必要な場合には、専門家に相談しましょう。

6) 農道

□側溝の裏込め材の充填

〈活動内容〉

・機能診断の結果、側溝側壁の背面で土壌侵食による空洞などが発見された場合、必要に応じて早い段階に裏込め材の充填を行います。

※診断の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・空洞の発生は、水路側壁背面の土砂が、水路内へ流出あるいは、水路底板の下などにできた水みちに吸い出されたことが原因です。
- ・調査により、土砂が吸い出された経路を特定する必要があります。
- ・補修方法は、吸い出し経路の遮断と裏込め材の充填について現場の状況により検討します。
- ・割石、モルタル等を裏込め材として使用することで、再空洞化を防ぎます。
- ・作業を実施するにあたっては、安全確保を第一として実施します。

6) 農道

路肩・法面の初期補修

〈活動内容〉

・機能診断の結果、降雨による影響等で侵食が発見された場合、必要に応じて早い段階に補修等を行います。

※診断の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・法面の侵食状況から、土を補充するか、採石、土のうなどを用いて補修するかを判断し、補修資材を準備します。
- ・法面が長い場合は足場を準備しましょう。
- ・侵食部分の整形は、安全を確保し、補充用の土と混合するなど盛土が地盤になじむようにします。
- ・何度も侵食している所は、土のうや資材により補強しましょう。

6) 農道

□破損施設の改修

〈活動内容〉

・機能診断の結果、路面・側溝などの施設の破損箇所が発見された場合、改修や簡易な補強工事を行います。

※診断の結果、対応の必要がない場合も、そのことを記録すれば活動を取り組んだ扱いになります。



- ・改修箇所やその周辺部については、除草や清掃をしましょう。
- ・穴や窪みは、アスファルト合材やコンクリート、モルタルで塞ぎます。
- ・ひび割れは、アスファルト舗装であればアスファルト乳剤系の補修材を、コンクリート舗装であればモルタルやセメントミルクを塗り込んで塞ぎます。
- ・側溝・縁石が欠けている部分はコンクリートやモルタルで補修しましょう。
- ・路面等の大きな損壊や、防護柵や照明設備、道路反射鏡の破損といった、車両や歩行者の安全に関わるようなことを発見したときには、速やかに関係機関へ連絡しましょう。